

国際生物多様性年スタート ベルリンで記念式典

【ベルリン共同】地球上の多様な生物の保全を推進するため国連が定めた「国際生物多様性年」の開始記念式典が11日、国連やドイツをはじめとした欧州諸国、日本など約90カ国の関係者約400人が出席してベルリンで開かれた。

式典のあいさつで、ドイツのメルケル首相が、10月に名古屋市で開かれる生物多様性条約の第10回締約国会議（COP10）について「ドイツ政府として支援していく」と表明。日本の環境省の田島一成副大臣は「名古屋会議の成功に向け、日本政府が地元愛知県などと協力して準備を進めている」と紹介した。

国連の潘基文事務総長もビデオ出演。生物多様性の国際年を推進していくよう各国に呼び掛けた。

生物多様性は、地球上の生物種や生態系の多様さのことで、人間活動が原因で起こる種の絶滅などに対する懸念が高まっている。